

未来への軌跡

2009年9月14日

英語 & 社会の補習授業！

今週も、先週に引き続き英語と社会の補習授業が行われました！左側の写真が、火曜日に行われた3年生対象の英語の補習授業の様子です。久しぶりに顔を出したNさんが頑張って英語を受けていたのが印象的でした！

右側は社会の補習授業の様子です。駅前花壇の水やりでお馴染みのK君とマンツーマンで授業をしました。K君は社会科の知識がとても豊富なことがわかりました！

16日は、国語の講義があるので、多くの生徒が出席するように積極的に呼びかけていきます!!



駅前花壇の水やり & 掃除!

10日(木)は若干蒸し暑かったですが、恒例の博多駅前花壇の水やりに、1年生のK君が手伝いに来てくれました。彼も日を追うごとに笑顔が増えて、色々話してくれるようになってきています！

右の写真は、補習終了後に3年生が中心になって掃除をしている様子です。Hさんは、入試を終えた後すぐに学校に来てくれて、受験の報告をした後、掃除を手伝ってくれました！HさんとMさんで雑巾がけをして、S君は掃除機をかけました！



未来への軌跡

2009年9月14日

保護者会～「食」から子どもを育てる～

12日(土)には、保護者会が行われました。この2ヶ月間の報告、生徒の様子を伝えた後に、牛島達郎先生をお招きして保護者向けに「食育」の大切さについてお話いただきました。

「ジュースなどの500mlの清涼飲料水には、一日に望ましい糖分の摂取量の倍含まれているということを知り、ジュース以外にもケーキやその他お菓子類を、過度に摂取すれば多量のインスリンを分泌させ、ひいては糖尿病を引き起こす要因となる。」

ジュースではなく麦茶や水を積極的に子どもたちに飲ませる必要性を改めて学びました。私は特に牛島先生のお話の中での

「子どもは期待通りにならない。しかし心配する通りにもならない。子どもは育てた通りになる」

「親が子どもに残すものとして、一に場を清めること、二に時間を守ること、三に礼を正すことを心がける」

「親が台所に立って食事を変えれば、必ず子どもは帰ってくる」

と言った言葉は、特に食事に限定せず、子どもを教育する立場の人々全てに通じ、私たちも常に感じていることです。

大人から発信する一挙手一投足が、そのまま反映されやすい子どもたちに対し、安易に接する事はできません。そうかと言ってそのまま何もしなければ、状況は変わらないどころか悪くなってしまいます。

やはり大人が変わり周りを変えることが、子どもの健やかな成長に結びつくのではないのでしょうか。そういった意味で、まずは身近な「食」を変えて、子どもに、朝晩は温かいご飯と味噌汁を出し、飲み物には麦茶を用意しておくことが大切だと感じました。

